

市政懇談会「留萌子ども夢物語」開催結果報告

【市長あいさつ（要旨）】

- ・ 6月はオホーツク高気圧の影響が霧状態が続いているような状態で、少し異常気象のような感じがする。田畑は気温が高くなってきて何とか持ち直してきているが、このような気象が続くのはあまり良くない。
- ・ このオホーツク高気圧の影響で異常気象になると、北海道よりもっと大変になるのが東北地方。かつてはこのような気象になると東北地方は凶作になった。
- ・ 東北地方は何年かに1回は凶作になるので、ある意味経済的には厳しい状況にもあったので、行政として電力のために原子力発電所を誘致することによって交付金がいただける。その交付金でまちづくりや市民サービスをしようと取り組んだ結果、東北地方にあれだけたくさんの原子力発電所ができてしまった。
- ・ 今回のこのような事故を受けて、もう一度、私たちの生き方を変えていかなければいけない。しっかりとした価値観でもう一度、この地域のこと一つひとつ考えていかなければならないという、新たな気持ちである。
- ・ 自然の大きなエネルギーの前では人間の力の無力さ、私たちはそれをしみじみ思い知ったのではないかと思う。
- ・ 留萌市も、財政が厳しいということで市民の皆さんがた、そして子どもたちにまでつらい思いをさせながら財政再建を進めてきた。
- ・ 去年は百年の歴史をもう一度振り返る、先人が留萌のまちにどういう歴史を築いてきたのか、その歴史の一つひとつを見ると、新しいことに取り組んだ分だけしっかり歴史に残っていた。
- ・ 私どもとしても、次の時代にあった、次の時代が求めている、そして市民が求めているそのニーズをしっかりと受け止めて、行政としての責任を果たしていかなければならない。
- ・ そんな想いでこの百年を振り返って、次の五十年、百年を考えた時、やはり子供たちがこの地域で、このまちの環境の中でのびのびと学ぶ、のびのび生きていく子どもたちこそ、私どもが子どもたちに、このまちが誇りを持てるような、そういうまちを責任を持って残していかなければならない。
- ・ もう一点は、お年寄りの皆さん方にも安心して過ごしていただけるようなまちづくりを組み立てていかなければならない。
- ・ 昨年度から、それぞれの地域の中でご支援いただいている、協働の中で特にご支援いただいている皆さん方にお集まりいただきながら、皆さん方の意見を忌憚なく聞かせていただきながら、行政として皆さん方の意見を受け止めて、しっかり具体的に、形で答えていく必要があると思っている。

- ・ ある意味では各班で議論されていることが、これからの留萌のまちを創っていく大きなエネルギーになっていただきたいと思うし、この一つひとつの班から生まれたアイデアや提案がこのまちの歴史を作るかもわかりません。
- ・ 今年は「子ども夢物語」ということで、私どもも皆さん方としっかり、子どもたちに勇気と、そして生きる力を与えるための施策を改めて組み立てていこう想いがあります。
- ・ まだまだこのまちの経済は辛い、厳しい状況があるかと思うが、今ある資源、今ある財産、留萌産米や数の子、そして私たちが新たにチャレンジしようという、そういう中で留萌に来ていただける方々に少しでも満足していただけるような、留萌の市民一人ひとりが思いやりを、そして心のバリアフリーとしてやさしさで人々を迎え入れるという想いを市民の方に持っていて、この地域の経済を市民と共に盛り上げて行きたいと思っている。
- ・ 改めて、市の財政健全化計画の中でご協力をいただいていること、また、それぞれ地域、町内会の中でご協力いただいていること、更には災害、防災、正に町内の皆さん方のこれからのコミュニケーションや思いやり、やさしさで地域住民のそれぞれの力を合わせて命を守りたい、そして命を繋ぎたい、そんな想いで今日は限られた時間ではありますが、懇談をさせていただきたいと思っています。

【財政の健全化の取り組み状況について】

- ・ 平成22年度決算状況（速報値）を中心に、留萌市と留萌市立病院の財政状況について説明。
- ・ 市立病院の大幅な収支改善など、計画以上の改善が図られており、順調に推移してきている。

【留萌市の津波対策について（情報提供）】

- ・ 今後の津波対策についての現状などの情報を提供。
- ・ ハザードマップは25年の春には配布できる体制を作っていく。

【グループ討議】

参加者を8班に分け、各班においてテーマに沿ってグループ討議を実施した。
詳細については別紙のとおり。

【終わりに（あいさつ要旨）】

- ・ 安心安全の面では今すぐ対応できることを、私どもとしてはしっかり意識を持たなければならないと思っている。

- ・ 6月から地元FMで、できるだけ高台を意識して、津波が来たときの対応、また、お互い助け合った中で避難行動をするとか、いくつかの点について流しているが、まずできることから一つひとつ始めていかなければならないと思っている。
- ・ 今後、広報の中で一つひとつ、現時点でできることについてお知らせしたい。
- ・ 津波ハザードマップについては、道や国とも話をした中で、道のハザードマップが今年度中ということなので、全体的にそれぞれの地域の中でどういう建物が安心なのか、どの場所がどれくらいの高さなのか、そういう部分についてはできるだけ早く皆さんにお示ししたいと思っているので、ご理解いただきたい。
- ・ 留萌の経済の活性化については皆さんに本当にご心配いただいているが、宿泊施設等含めて、なかなか民間の経済が上手く回っていないという厳しい状況ありますが、私どもとしては商工会議所、商店街、それぞれの中で意見交換をしながら、どういう形でこのまちの経済の振興を進めていくのか、そういった部分も十分コミュニケーションを取りながら、そして地域住民の皆さん方に地産地消についてもご協力をいただきながらこのまちの経済を回して行こうと思っているので、ご理解いただきたい。
- ・ 子どもの施策については、公園の遊具等についても厳しいご意見をいただいた。地域からお寄せいただいたことはごもっともなことであるので、財政を見極めながら子どもたちにこういった喜びを感じていただけるのか、また、日頃の子どもたちの生活の中で子どもたちを満足させるために、どのような施策を私どもが行政としてしっかりと取り組むべきなのか、学校教育、家庭教育、そして地域の中での地域力で子供たちをどう育てていけばいいのか十分コミュニケーションを図った中で創り上げて行きたいと思っています。
- ・ 多くの皆さんからまだ留萌に道の駅がないのはと色々な場面でご指摘をいただいている。私どもとしても今後、計画をしていかなければならないという思いがあるので、ご理解をいただきたい。
- ・ 一つひとつのご意見について、再度、私どもも検討していく。